

case. 下関市
03 シェアハウス
ゲストハウス



宿泊施設



>>>

宿泊施設



DIY イベントを開催して みんなで作ったシェアハウス

🏠 リノベーション内容

Before

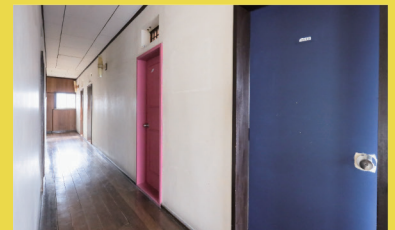


After



外観は基本的にそのまま使用しているが、給水管やコンクリートブロックの塀など、必要な箇所をその都度修理している。

After

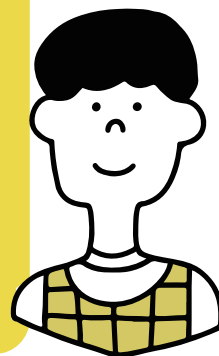


DIY イベントを開き、床や壁などを改修した。

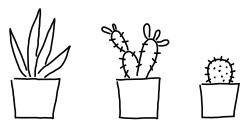
リノベーション ストーリー

renovation story

縁があり元旅館のこの物件を譲り受けることから始まりました。当初活用方法については未定でしたが、地元を盛り上げる活動をしている団体に相談し、この物件の再生プロジェクトチームを結成しました。まずは、大掃除を行ったところ、水も電気も通っていることが分かったため改修をして利活用する方向に決定しました。具体的な活用方法については、チャンレジマルシェや内覧会などのイベントを開催する中で、来場者も交えて話し合いを行いながら決めていきました。1階はチャレンジルーム、ラウンジ、コワーキングルームなどに、2階はシェアハウス、ゲストハウスに改修しました。古くて見向きもされなかった場所が多くの方に、「よい場所だね」と言っていただきうれしく思っています。ここが、ヒトとヒトをつなぐ橋渡しをする場所となればと思っています。



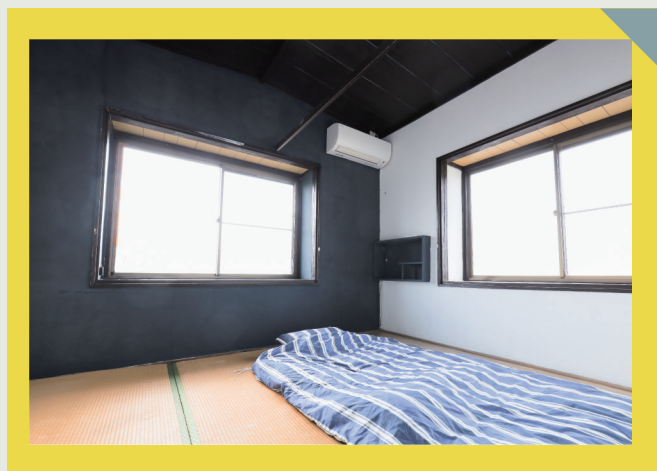
利活用までの スケジュール



schedule

● 2017	空き家となった旅館を譲り受ける
● 2021.2	地元の活動団体に相談
● 2021.2	有志団体を結成し、イベントを実施
● 2021.7	事業計画を立てる
● 2022.1	リノベーション開始
● 2022.4	オープン

こだわりポイント



いろんな人が集いたくなる場所に

1階にあるラウンジは、この建物を訪れる人や居住者が集う場所になるよう、圧迫感がなくリラックスできる空間になるよう意識して改修を行いました。また、2階のシェアハウスとして使用している部屋は、入居者が壁やドアを自由に塗装できるようにするなど、思いのままに改修を楽しんでいます。